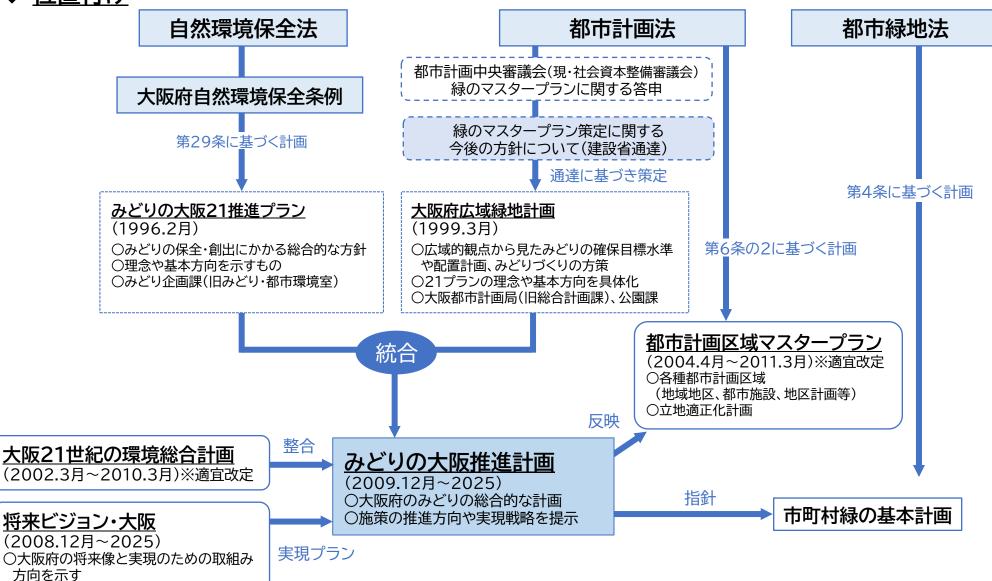
現行計画の概要・進捗状況

○「みどりの風を感じる大都市オンリー1」

◆ 位置付け



現行計画の概要

- ◆<u>将来像</u> みどりの風を感じる大都市・大阪
- ◆<u>計画期間</u> 2009年12月~2025年

みどりの風を感じる大都市・大阪とは一 美しく季節感のあるみどりの中で、 人と人、人と自然のつながりが生まれ、 さわやかな風を感じる快適なまち

- ◆目標·指標
- ○緑地の確保目標: 府域面積に対する割合を約4割以上確保
- ○緑化の目標(市街化区域):緑被率20% (2002年:14%の1.5倍)
- ○指標:大阪府域にみどりがあると感じる府民の割合を増やす 約5割⇒約8割 最近みどりに触れた府民の割合を増やす 約4割⇒約8割

◆実現戦略(4つの基本戦略)

基本戦略	主な取組み例		
1 みどりの豊かな自然環境の保全・再生	府営公園・府民の森等の利用促進と適正な管理運営 「共生の森」づくりの推進 等		
2 みどりの風を感じるネットワークの形成	水の都「大阪」の再生パークマネジメントの実践等		
3 街の中に多様なみどりを創出	公共施設(府有施設)の緑化推進 建築物緑化促進制度の推進 等		
4 みどりの行動の促進	校庭の芝生化 みどりづくりを通じた地域交流の促進(例:緑化樹配付)等		

◆ みどりが持つ多様な効果

学習が、子どもの環境教育につなが

ります。



つながります。

対象とするみどり

周辺山系の森林、都市の樹林・樹木・草花、 公園、農地に加え、これらと一体となった 水辺・オープンスペースなど

- ➡暮らしを支える様々な効果
- →中でも、媒体効果に着目

現行計画の進捗状況

緑地の確保 40.9% (2013年度) **40.8%** (2022年度)

※緑地:担保性があるもの(施設緑地、地域制緑地)

- 森林や農地は減少。都市公園の開設や民間施設の緑化義務等をはじめ、各事業での緑化 促進により、府域面積に対する「緑地」の面積は**4割以上確保**。
- 市街化区域における緑被率は、計画策定時と同程度と見込んでいる。中心部では緑化可能 な場所が限られること、周辺では都市化の拡大や大規模商業施設の拡大等により緑化が 減少傾向にあるが、高層マンション敷地や再開発地では、シンボル的な緑が創造。

<参考>緑地の確保

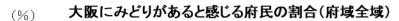
単位:ha

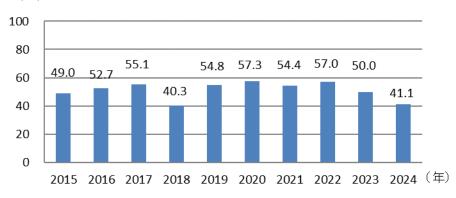
年度		2013年度	2022年度	増減	主な施設等
施設緑地	都市公園	4,616	5, 146	529	国営公園、府域公園、市町村公園等
	都市公園以外	1,011	1, 358	346	港湾緑地等
地域制緑地	森林	57,657	55,048	▲2,609	近郊緑地保全区域、 自然公園·保安林区域等
	農空間	11,451	11, 374	▲ 77	生産緑地、農用地区域等
	公共施設	1,540	1,930	390	河川緑地、府有施設緑化、 校庭の芝生化等
	その他	1,420	3,584	2,164	民間施設(緑化義務)等
	重複控除	-	732		
	計	77, 696	77,707		
	府面積	190,142	190,534		

みどりがあると感じる府民の割合 41.1% (2024年)

最近みどりに触れた府民の割合 21.0% (2024年)

- ○みどりに対する府民意識は横ばい。
- 余暇活動の多様化により、みどりに触れた府民の割合は低調傾向。







※大阪府政策マーケティング・リサーチ

- ✓ 府民のニーズや、各施策や事業の課題把握のため、民間のインターネット調査会社が保有する多数のモニターを活用したアンケート調査。 ✓ 18歳以上の大阪府民計1,000サンプル。
- 問)「大阪(府域全体)におけるみどりの状況について、どのように感じていますか」
 - ①みどりが豊かだ ②ある程度みどりがある ③みどりが少ない ④みどりがほとんどない のうち、①②を選んだ人の割合
- 問)「日ごろの大阪府内での"みどり"へのふれあいの程度」について、8項目の体験について、年数回程度以上の体験がある回答者の割合を項目ごと測定し、8項目の平均を算出
 - ①自宅の庭などにおけるガーデニングなど ②みどりの多い町並みなどの散策 ③公園やみどりの多い施設等での余暇活動 ④山や海、川などでの余暇活動
 - ⑤昆虫や野鳥など自然の生き物とのふれあい ⑥公園や道路など公共空間における緑化活動への参加 ⑦自然環境保全等に関するボランティア活動への参加
 - ⑧みどりに関する募金への寄付